施工説明書

INAX

フォルマージュシリーズ

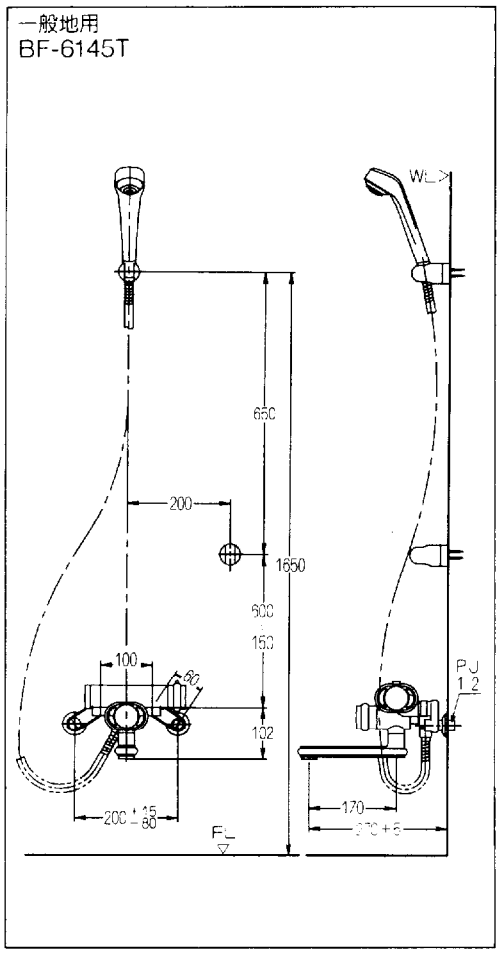
一般地用	寒冷地用
BF-6145T	BF-6145TN
BF-6145T/ZG	BF-6145TN/ZG
BF-6345T	BF-6345TN
BF-6345T/ZG	BF-6345TN/ZG

サーモスタット付混合水栓

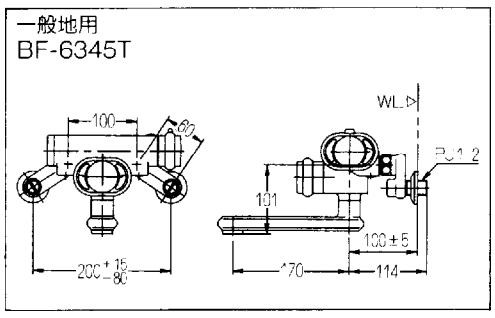
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

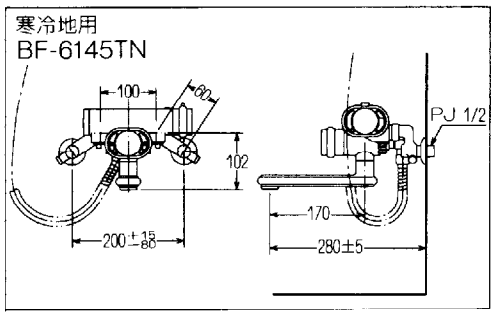
一般地用
BF-6145T



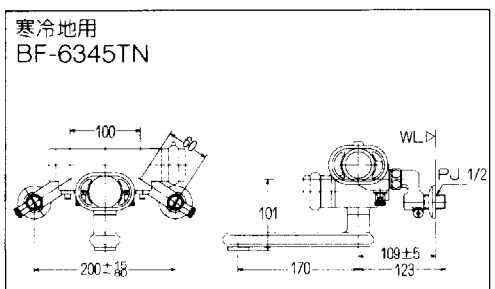
一般地用
BF-6345T



寒冷地用
BF-6145TN



寒冷地用
BF-6345TN

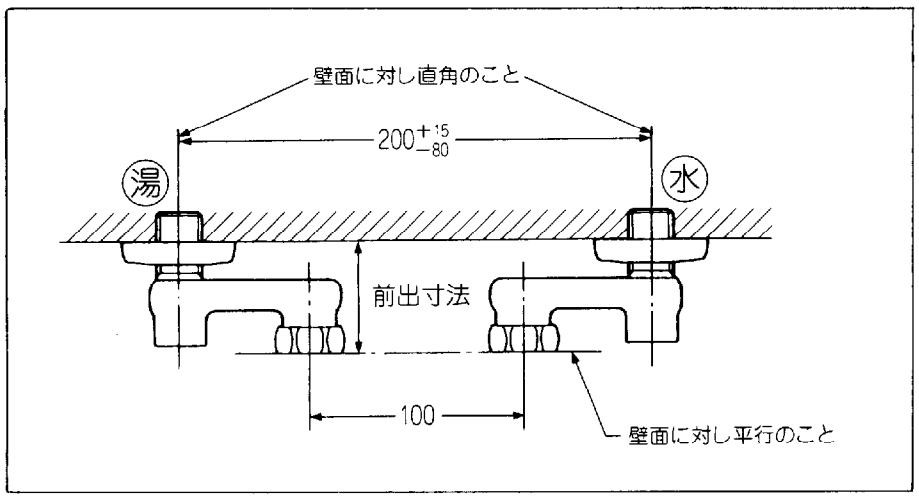


●施工上のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるよう取り付けます。



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要水圧……0.06MPa{0.6kgf/㎠}
最高水圧……0.75MPa{7.6kgf/㎠}
Aはガス給湯器の最低作動水圧です。
●測定条件
※切替ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の最高温設定です。

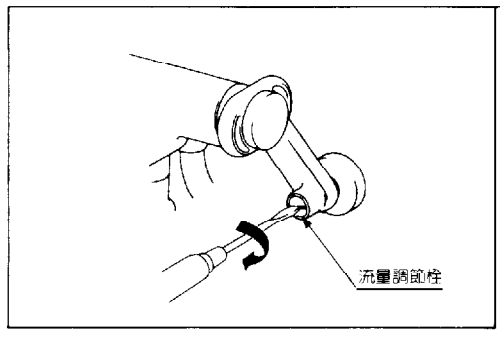
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
最高圧力……0.75MPa{7.6kgf/㎠}
●給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。
●給水圧力0.75MPa{7.6kgf/㎠}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20MPa{2.0kgf/㎠}程度)に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に**蒸気**は使用できません。

●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧0.20MPa{2.0kgf/㎠}を超える場合は水側の流量調節栓を調節してください。

●調節手順
(1)温度調節ハンドルを「C」に合わせてシャワー・バス切替ハンドルをバス側に切替え、全開吐水させてください。
(2)吐出量が20L/分程度(洗面器一杯にするのに約10秒弱)になるように水側の流量調節栓を時計回りに回して流量を絞ってください。



株式会社INAX

本　社　☎0569-35-2700
関東支社　☎048-668-1177
関西統括支社　☎ 06-539-3500
北海道支社　☎011-271-1713
甲信支社　☎0263-36-2166
中国支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-301-1701
中部統括支社　☎052-201-1717
四国支社　☎087-821-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
北陸支社　☎076-264-1710
九州支社　☎092-282-3154

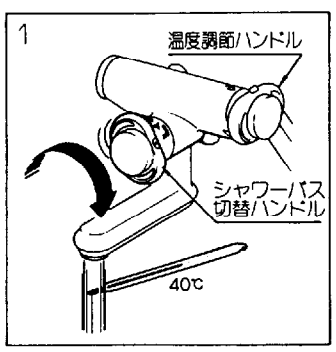
●温度調節

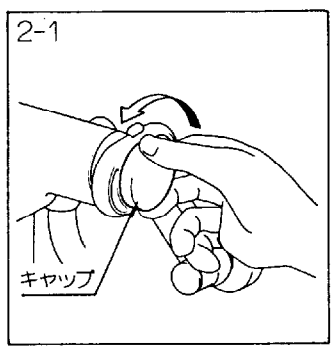
工場で調節出荷しておりますが、圧力や給湯温度が異なると、ダイヤル通りの温度が出ない場合があります。このような場合は次の要領で再調節してください。なお、調節前に次の事を確認してください。

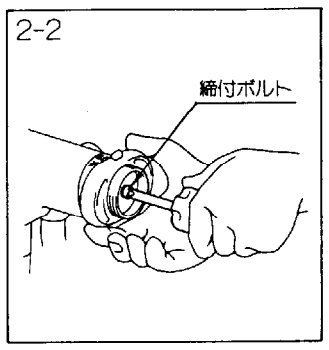
⑴流量調節栓は開いているか。
⑵ストレーナーにゴミ詰まりはないか。
⑶給湯温度は十分か。

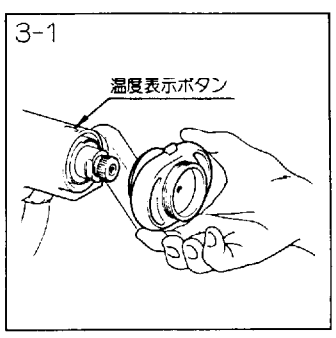
●調節手順

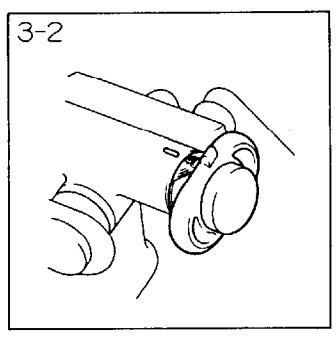
1．シャワー・バス切替ハンドルを右に回して全開吐出させ、温度目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。
2．吐出温度が40℃に合ったところでシャワー・バス切替ハンドルを閉め、温度調節ハンドルが回転しないように注意してキャップ、締付ボルトを外して温度調節ハンドルを抜き取ります。
3．温度表示ボタンに「40」の目盛を合わせて温度調節ハンドルを取り付けます。







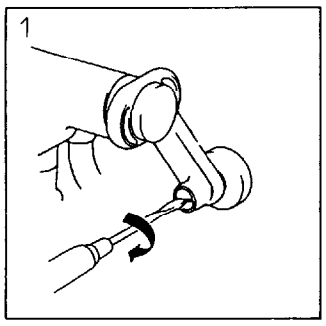


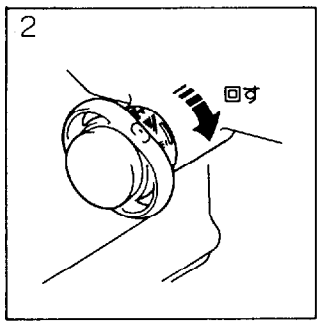


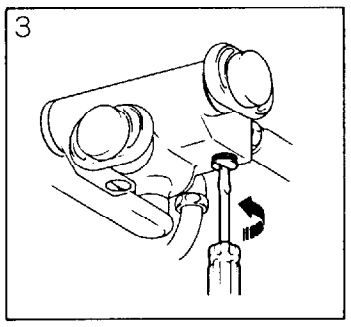
●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。次の要領で掃除してください。

1．湯と水の流量調節栓を一杯にねじ込みます。
2．シャワー・バス切替ハンドルを開けます。
3．大形ドライバーでストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。ストレーナーは湯側と水側の両方についています。
4．組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。







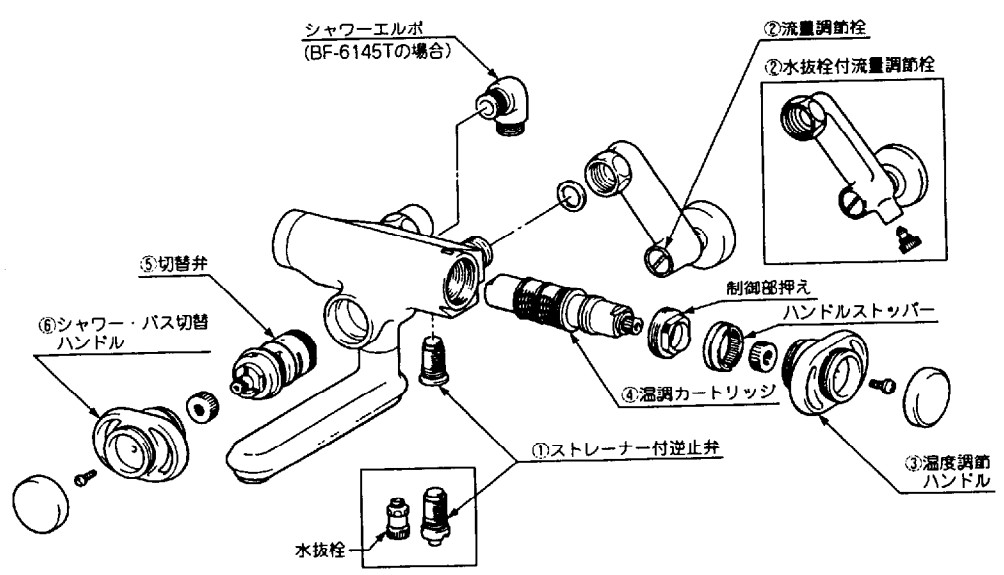
●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取除く
	ストレーナーのゴミ詰まりは？	①(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流す「ストレーナーの掃除」の項参照
	流量調節栓は全開か？	②(湯側と水側)	流量調節栓を十分開く
水が止まらない	ゴミかみはないか？	⑤	ゴミ等を水で洗い流す
	キズはないか？	⑤	キズがあれば部品を交換する
湯水の逆流がある	ストレーナー付逆止弁は正常か？（ゴミ、砂かみは？）（シートにキズは？）	①(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流すキズがあれば部品を交換する
冷水又は熱湯しか出ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照
	ストレーナーのゴミ詰まりはないか？	①	ゴミを水で洗い流す「ストレーナーの掃除」の項参照
	流量調節はよいか？	②	「流量調節」の項参照
	温度調節はよいか？	③	「温度調節」の項参照
	温調カートリッジは働いているか？	④	「機能検査」の項参照



□ 内は寒冷地用です。

●機能検査

手順 ⑴シャワー・バス切替ハンドル⑤を開ける。
⑵温度調節ハンドル③を40℃に合わせる。
⑶流量調節栓②の水側のみを閉める。
※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常
※吐出が止まらずそのままであれば制御部の故障ですから取替えが必要です。
⑷流量調節栓②の湯側のみを閉める。
※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常
※吐出が止まらずそのままであれば制御部の故障ですから取替えが必要です。